

## ■令和7年度上尾市政策企画提案事業評価一覧

No	事業名	事業概要	7年度予算 (千円)	1次評価(担当課)			事業 年度	政策企画提案制度 2次評価 達成度	2次評価コメント
				必要性	効果	達成度			
1	防災情報等配信事業	一括配信システムの導入により、市HP・SNS・防災メール等への迅速かつ正確な情報伝達体制を構築する。	700	○ 高い	○ 高い	○ 達成	R5～R7	○ 政策企画提案制度における事業期間が終了	一度の入力で市ホームページやSNS等へ一括配信する体制を構築し、当初目標の配信先数を早期に達成した。昨年度からは作業時間削減を目標に据え、現在は従来の6分の1まで短縮するなど、迅速かつ正確な情報伝達を維持している。今年度はこれらの目標を継続しつつ、豪雨対応24回、訓練7回と活用実績を重ね、運用を習熟させてきた。さらに令和7年3月からは市政情報のメールマガジンにも本システムを導入し、配信実績は247件に達するなど、有事のみならず平時における有効活用も着実に広げている。
2	高齢者優待カード事業	協力店舗での優待サービスが受けられる「高齢者優待カード」を配布し、高齢者の外出機会の創出と健康寿命の延伸を図る。	0	○ 高い	△ 普通	△ 一部達成	R5～R7	△ 政策企画提案制度における事業期間が終了	令和5年度に「人生100年時代づくり・地域創生ソフト事業交付金」(補助率10/10)を活用し、優待カード55,000枚および協力店舗ステッカー500枚を作成した。令和7年11月末時点での実績は、協力店舗133店、配布枚数12,027枚となっており、目標配布枚数には至っていないものの、高齢者の外出機会の創出や生きがいづくりに繋がったことは一定の評価が出来る。今後は65歳到達者へのプッシュ型配布に加え、広報誌への掲載や市公式LINEへの搭載など、配布・周知方法の改善や利便性の向上を図ることが求められる。
3	キャッシュレス決済導入事業	市民課や各支所等の窓口に決済端末等を導入し、手数料納付のキャッシュレス化による利便性向上と業務効率化を図る。	4,357	○ 高い	○ 高い	○ 達成	R5～R7	○ 政策企画提案制度における事業期間が終了	キャッシュレス決済の導入により、窓口対応の迅速性と正確性が確保され、市民の利便性向上と業務負担の軽減を実現した。また、あわせて設置した防犯カメラにより、窓口におけるトラブルの未然防止や安全な環境整備にも寄与している。導入2年後の目標値を10%と設置していたが、実績は19.98%と目標を大幅に上回るものであった。
4	「上尾の摘田・畑作用具」展示施設整備事業	自然学習館の展示室をリニューアルし、国指定重要有形民俗文化財等の常設展示を通じて市の歴史・文化の普及啓発を図る。	0	○ 高い	○ 高い	○ 達成	R5～R7	○ 政策企画提案制度における事業期間が終了	令和7年度より、小学3年生を対象とした社会科副読本「のびゆく上尾」に本施設の情報が掲載されたほか、教員初任者研修でのワークショップ実施など、教育現場と連携した周知活動を強化した。累計来館者数についても、令和4年度から令和6年度にかけて着実に推移し(R4.12.1～R5.11.31:38,681人/R5.12.1～R6.11.31: 44,678人/R6.12.1～R7.10.31: 82,279人)、令和7年度には82,279人を記録した。これは前年同時期比で37,601人の大幅増となり、目標値である33,000人を大きく上回る成果を上げている。
5	図書館資料整備事業	「りんごの棚」コーナーの設置を拡大し、大活字本や点字本等の資料を充実させることで、障害の有無にかかわらず読書を楽しめる環境を整備する。	318	○ 高い	○ 高い	○ 達成	R5～R7	○ 政策企画提案制度における事業期間が終了	すべての利用者が障害の有無にかかわらず読書の恩恵を受けられるよう、「りんごの棚」コーナーの整備を令和5年度の本館を皮切りに、令和6年度に駅前分館、今年度は大石分館へと順次設置を拡大した。当該コーナーには、大活字本や点字本のほか、LLブック、マルチメディアデイジー等を配備している。これらの環境整備により、令和7年度の目標値500点に対し、実績は1,050点と大幅な超過達成している。

## ■令和7年度上尾市政策企画提案事業評価一覧

No	事業名	事業概要	7年度予算 (千円)	1次評価(担当課)			事業 年度	政策企画提案制度 2次評価 達成度	2次評価コメント
				必要性	効果	達成度			
6	ICTを活用した上尾市史等発信事業	郷土資料や古文書等のデジタル化を行い、電子図書館やデジタルサイネージを通じて、場所を問わずに閲覧できる環境を構築する。	90	○ 高い	○ 高い	△ 一部達成	R5～R7	○ 政策企画提案制度における事業期間が終了	郷土資料(書籍)38タイトルをデジタル化している。資料貸出件数について、令和7年度は、10月31日現在186件であり、このペースで推移すると目標値である300件を達成する見込みである。デジタル化により、市民の利便性は向上している。
7	被災者生活再建支援迅速化事業	被災者生活再建支援システム(クラウド版)及び家屋の被害認定調査(モバイル調査)の運用及び職員体制の確立する。	3,924	○ 高い	○ 高い	○ 達成	R6～R8	○ 継続実施	国の通知では、発災後1ヶ月を目途に調査・罹災証明書の交付を行うことされている。本システムの導入・整備により、業務の迅速性と正確性を確保し、この目標を達成できる体制を構築した。大規模災害時における調査現場用の入力端末の確保については、今後さらなる検討を進める必要があるものの、昨年度に引き続き、実務研修を通じて職員の習熟度向上と体制拡充を図っている。
8	LoGoAIアシスタントbot版の導入	ビジネスチャットツール「LogoChat」に搭載される生成AI機能利用し、行政サービス向上のために必要な、職員の業務効率と質の向上および士気高揚を図る。	1,716	○ 高い	○ 高い	○ 達成	R6～R8	○ 継続実施	効率化が図られたとする時間数は、令和6年度の117時間に対し、今年度は468時間と大幅な進歩を見せており、費用対効果は極めて高いものと考えられる。LoGoAIアシスタントは、他サービスと比較しても強固なセキュリティ環境が構築されている。当該事業を含め、生成AI全般に関する職員の関心度も85%を超えており、活用の機運が高まっている。
9	上尾市公式LINEアカウント活用事業	LINE公式アカウントの機能拡張システムを導入し、オンラインでの申請・決済等の行政手続きを拡充する。	3,591	○ 高い	○ 高い	○ 達成	R6～R8	○ 継続実施	実装機能数も昨年度の22から40と増加し、手続や申請などの利用件数も3,308件と認知が広がってきた。アンケートでは、満足度が5段階評価の内3.75と高いものであった。今年度から新たに電子申請機能と公的個人認証機能の運用が開始され、利便性向上と次世代の行政サービスへ向けた効率化を図るための整備が整った。
10	災害時情報集約・リアルタイム映像共有事業	災害対策本部と各拠点間を繋ぐ映像共有システム等を導入し、発災時の円滑な情報収集と迅速な状況判断を可能にする。	6,947	○ 高い	○ 高い	○ 達成	R6～R8	○ 継続実施	本システムの導入により、地図や写真などの情報一元管理に加え、各拠点間および外部との円滑な情報共有が可能となった。豪雨等の対応においては、今年度28回の実活用があったほか、2ヶ月に1度の定期訓練でも運用している。本システムは、既存の市ネットワークに依存しない独立した通信手段として、防災力の強化に直結するものである。また、平時においても各支所でのオンライン会議等に利用されており、活用の幅を広げている。

## ■令和7年度上尾市政策企画提案事業評価一覧

No	事業名	事業概要	7年度予算 (千円)	1次評価(担当課)			事業 年度	政策企画提案制度 2次評価 達成度	2次評価コメント
				必要性	効果	達成度			
11	ひとり親家庭等養育費確保支援事業	養育費の決算に必要な公正証書作成費用や保証契約費用の補助を行い、ひとり親家庭の経済的安定を支援する。	175	○ 高い	○ 高い	○ 達成	R6～R8	○	継続実施  養育費の確保を支援するため、①公正証書作成経費、②ADR(裁判外紛争解決手続)相談費用、③保証契約費用を補助(上限5万円)する事業を、令和6年8月より開始した。これは、国が求めるひとり親家庭等支援のうち、本市が唯一取り組めていなかった項目であり、本事業の開始により総合的な支援体制が確立された。10月末時点で9名の利用があり、申請後も伴走型の支援を行っている。目標である利用者全員が養育費受領に至るなど、着実な成果を上げている。
12	おむつサブスクサポート事業	公立保育所における「おむつのサブスクリーピションサービス」を導入し、保護者がおむつを持参する負担と保育現場がおむつを管理する負担の双方の負担を軽減を図る。	0	○ 高い	○ 高い	○ 達成	R6～R8	○	継続実施  令和6年10月から運用を開始した。令和7年度の実績は、0歳児加入率81%、保護者満足度100%となり、それぞれの目標値である50%および80%を上回る結果となった。0～2歳児全体でも、加入率63.4%、満足度99%と極めて高い。
13	保育所英語体験事業	小学校就学前の未就学児の時から、歌や日常の遊びの中で英語に触れる機会を創出することで、就学後の英語教育へのスムーズな移行を図る。	26,718	○ 高い	○ 高い	○ 達成	R6～R8	○	継続実施  令和6年10月から県内初となる市内全保育施設を対象とした英語体験事業を開始した。現在までに公立全12園および私立28園で実施しており、令和7年度の実績は、実施施設割合87%、園児の満足度(楽しいと回答した割合)94.1%と、それぞれ目標値の80%を上回っている。
14	農産物販売機管理運営事業	上尾市役所本庁舎1階に地元農家から提供を受けた野菜等を販売する自動販売機を設置する。	1,283	○ 高い	○ 高い	△ 一部達成	R6～R8	○	継続実施  販売金額は目標に届かなかったものの、前年比1.3%増、月平均販売数においては4.3%増と需要は拡大している。県内初の試みとして新聞等7媒体に掲載されたほか、他市からの視察もあり、先進的な事業として注目されている。また、本事業を活用する新規就農者の事例では、販路の13%を自販機売上が占めるなど、経営を支える有効なルートとして確立されており、新規就農支援と地産地消を推進する事業として一定の評価ができる。今後は目標達成に向けさらなる取り組みに努めていただきたい。
15	丸山公園整備事業	丸山公園にヤギと触れ合える広場を整備し、除草作業への活用とあわせ、公園の新たな賑わいを創出する。	2,366	○ 高い	○ 高い	○ 達成	R6～R8	○	継続実施  令和7年9月12日から12月8日にかけて実施した。令和7年度の来園者数は、目標値1ヶ月当たり15,750人に対し、実績は17,219人と目標を達成し、そのうちヤギ飼育エリアには3,048人が来場した。アンケート(有効回答174件)の結果、「再度見学に来たい」との回答が100%、「知人等に勧めたい」が91%、さらに「飼育期間の延長を望む」との回答が97%に達するなど高い評価を得ている。

## ■令和7年度上尾市政策企画提案事業評価一覧

No	事業名	事業概要	7年度予算 (千円)	1次評価(担当課)			事業 年度	政策企画提案制度 2次評価 達成度	2次評価コメント
				必要性	効果	達成度			
16	上尾駅冷却ミスト設置事業	上尾駅前の東西口に冷却ミストを設置し、夏季におけるヒートアイランド現象の緩和と熱中症対策、快適な駅前環境の整備を図る。	6,343	○ 高い	○ 高い	○ 達成	R6～R8	○	継続実施  令和7年7月22日から9月30日にかけて稼働した。本事業はミスト噴霧エリアの気温を2°C低下させることを目標としており、アンケートにおいては、「噴霧量の調整」「設置箇所の拡大」「濡れすぎてしまう場所がある」といった要望や指摘があったものの、稼働期間中の平均低下温度は東口で2.0°C、西口で2.4°Cを記録し、当初の目標を達成している。
17	部活動地域移行推進事業	部活動地域移行推進事業の一環として、文化芸術に係る地域クラブ活動の設置第1弾として、「イングリッシュサロン～小さな外国～」(英語クラブ)を設立する。	3,636	○ 高い	○ 高い	○ 達成	R6～R8	○	継続実施  令和6年7月より、文化庁の「文化部活動改革実証事業」として採択され、市内6会場で「イングリッシュサロン(英語クラブ)」を開設した。令和7年度からは、内容のさらなる充実を図るため会場等の再編を行い、運営体制を強化している。実績については、当初の目標であった登録者数を早期に達成したほか、新たに対象とした参加者満足度においても100%を記録し、目標値を上回ることができた。本事業は、コミュニケーションに特化した中学校の英語部活動改革として全国初の取り組みであり、新聞等のメディア掲載を通じて本市のシティセールスにも大きく寄与している。
18	地域防災力向上・防災士育成事業	市が認定研修機関となり「防災士養成講座」を開催することで、受講料の無料化による資格取得を促進し、地域防災の担い手となる防災士の増員と地域防災力の強化を図る。	2,027	○ 高い	○ 高い	○ 達成	R7～R9	○	継続実施  従来、市内の防災士養成には一人あたり63,800円を要していたが、本取り組みにより約25,000円での養成が可能となった。令和7年度は、12月に80名を対象とした養成講座を実施し78名が受講した。これにより、目標としていた防災士一人当たりが抱える市民数が391人となり目標を達成し、地域防災力の着実な向上へと繋げている。